

川崎市聴覚障害者情報文化センターだより



川崎市聴覚障害者 情報文化センターまつり



5月31日(日)、第19回川崎市聴覚障害者情報文化センターまつり
を開催し、今年は306名の皆さまにご来場いただきました！

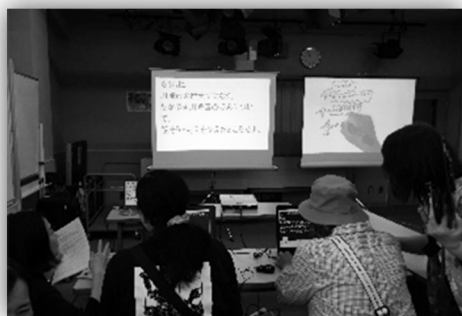
当日は、手話で絵本の読み聞かせ(協力:特定非営利活動法人川崎市ろう者協会)や、デフ・パペットシアター・ひとみによる参加型ワークショップ、手話体験や要約筆記体験、聴覚障害者福祉機器展など、さまざまな企画を実施しました。子どもから大人まで多くの方にご参加いただき、会場は終日にぎわいを見せました。

また、先着100名様に綿あめをお渡ししました。希望する綿あめの色(全5色)の手話をろう職員から教わり、その手話で注文していただくことで、楽しみながら手話に触れていただく機会を設けました。

初めて当センターを訪れた方の姿も見られ、当センターの役割や事業内容について知っていただく良い機会となりました。

センターまつりは、当事者団体をはじめ、多くの関係者の皆さま、そして広報にご協力いただいた各新聞社や近隣商店街などの皆さまの支えにより開催することができました。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

今後も、地域の皆さまに当センターをより身近に感じていただけるよう取り組んでいきたいと思います。



センター運営委員会

5月29日(金)に当センターの運営委員会を開催しました。当センターでは年に2回運営委員会を実施しています。今回の主な内容は令和7年度の事業報告、収支決算報告です。事務局からの説明の後、質疑応答と意見交換を行いました。

委員の皆さまからは、区役所における遠隔手話通訳事業や、字幕(手話付き)ビデオ・DVDの貸し出し事業などについてご意見をいただきました。

今回長く運営委員を務めてくださった委員からの退任のご挨拶もありました。改めてこれまでの皆さまのご協力に感謝するとともに、皆さまからいただいたご意見、情報を参考に、これからも当センター事業の充実を図っていききたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

ICT 講座

《4月21日(火)》

「ChatGPTを使ってみよう!」参加者は13名でした。

AIと文字で会話しながら、知りたいことを調べたり質問したりできる便利なアプリ「ChatGPT」。皆さんの生活に役立てていただければと思い、企画しました。



講義では、「AIとは?」「ChatGPTとは?」について説明したほか、個人情報(氏名、住所など)は入力しないよう注意点もお伝えしました。その後、参加者の皆さんに実際にスマートフォンやタブレットを使って体験していただきました。体験後には、どのような質問をしたのか情報交換を行いました。参加者からは「歯のことで気になることがあったので、聞いてみた」「お花について知りたいことがあって質問した」「相手に送る手紙の文章を考えてもらったり、内容を修正してもらったりした」など、さまざまな活用例が紹介されました。

中には、撮影した花の写真を ChatGPT に送って名前を調べてみたい」と話される方もおり、AI の新しい使い方に興味津々の様子が見られました。

《6月7日(日)》

「ChatGPTを使ってみよう!(休日コース)」参加者は4名でした。

第1回と同様の内容で実施しましたが、今回参加された方は全員初参加でした。

講義では、「ChatGPT」は知っているか、または使ったことがあるかを伺ったところ、「名前は知っていたが意味がわからず、これまで使ったことはなかった」といった声が多く聞かれました。

体験後には、「ろう高齢者ミニデイサービスの企画のアイデアに行き詰まっていたが、ChatGPT に相談したところ多くの案が出てきて驚いた。とても参考になり、もっと早く知っていれば活用したかった」「会話の内容はすぐ消えてしまうのか」など、さまざまな感想や質問が寄せられました。

また職員からはアカウント登録すると、会話履歴が残るメリットや、ChatGPT に質問できる具体例を紹介しました。これにより参加者の理解が深まり、関心が高まる様子が見られました。

今回、川崎市登録手話通訳者団からアシスタントのご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。次回の ICT 講座は10月22日(木)を予定しています。皆様のご参加をお待ちしております。



消防局職員対象研修

5月8日(金)、川崎市消防局にて、入職2年目の職員及び救急隊員を対象とした研修を行いました。テーマは「聴覚障害者を正しく理解しよう～救急現場で必要な知識・手話を学ぶ～」。

参加者は40名程でした。前半は講義として、聴覚障害者の救急対応にあたる際の注意点や緊急手話通訳派遣の仕組みについて、また、ろう者、難聴者、中途失聴者のコミュニケーションについてを中心に扱いました。後半は、特定非営利活動法人川崎市ろう者協会・特定非営利活動法人川崎市中途失聴・難聴者協会の方にご協力いただき、救急現場で使える手話単語や、難聴者とのコミュニケーション時の注意点などを学びました。最後には実際



の救急現場と同様、3人一組で対応にあたる場面を想定したロールプレイも実施。手話や音声認識アプリを使いながら声掛け、聞き取りをする等、研修で学んだことを積極的に活用して取り組む参加者の方の姿が印象的でした。今後、救急の現場で活用していただけることを願います。協力いただいた皆さま、ありがとうございました。



第1回聴覚障害者福祉講座

7月12日(日)に、第1回聴覚障害者福祉講座～地域の力を高めるためにPart1～を開催しました。

講師は、東京大学多様性包摂共創センターバリアフリー推進オフィス(ODE) 特任講師の中津真美氏で、「CODA(コーダ)の経験を通してろう者の生活を考えよう!」というテーマで行われました。CODAとは、きこえない親を持つ、きこえる子供のことです。中津先生ご本人もCODAで、CODAの研究をされています。情報文化センターの研修室で開催予定でしたが、非常に多くの方にお申し込みをいただき、急遽会場を国際交流センターに変更して実施し、86名の方にご参加いただきました。

1時間の講演の中では、21,000人～22,000人のCODAが日本にいと推定されていること、CODA実態調査では、平均6.48才から親の通訳を経験していることなどが紹介されました。辛い話や難しい話を小さな子供が通訳するのは困難で、手話通訳者が神様に見えた、というエピソードもありました。



講演のあとは、川崎市に住む3人のCODAとのトークショー。手話通訳派遣制度がない時代に子供時代を過ごされた方もいれば、制度が始まったばかりの頃に子供時代を過ごされた方、制度が出来てから子供時代を過ごされた方と、それぞれ異なる経験をされていました。制度の有無あるいは充実が、CODAの生活にも影響を与えることがよく分かりました。学校時代、先生から歌に手話をつけるよう言われたことがとても嫌だった、などの、リアルな体験談も。CODAの体験を直接聞ける、貴重な機会となりました。

【今後の予定】

- 第2回 9月15日(火)「グループホーム春里どんぐりの家 在宅生活について」
- 第3回 12月13日(日)「聴覚障害者災害訓練報告会」
- 第4回 2月25日(木)「聴覚障害者が利用する福祉機器等について知ろう!」

第2回申込受付中
申込フォームはこちら



手話通訳者 新登録研修

4月～6月にかけて、全3回の手話通訳者新登録研修を行いました。4月の研修では、特定非営利活動法人川崎市ろう者協会、特定非営利活動法人川崎市中途失聴・難聴者協会、川崎市登録手話通訳者団、川崎市登録要約筆記者協会、全国手話通訳問題研究会神奈川支部の各代表より団体についてお話をいただいたほか、川崎市の手話通訳派遣制度について学びました。5月には手話通訳派遣コーディネーター同行で実際に通訳を担当する機会を設け、初めて本当の通訳現場を経験。6月は登録2年目の登録手話通訳の方にもご協力いただき、これから通訳活動をしていくにあたっての不安や戸惑い、また現場での対応等について話し合いました。手話通訳は一人対応となる現場がほとんどです。不安も大きいと思いますが、この研修やこれまでの養成講座、ろう者との関わりの中で学んだことを胸に、長く取り組んでいただければと思っています。



要約筆記者 新登録研修

要約筆記者新登録研修を4月3日(金)、10日(金)、17日(金)、24日(金)4日間の日程で開催し、手書き1名、PC3名が出席されました。講義では「登録活動に必要な制度の説明」、「市内関係団体の紹介」、「要約筆記者の健康管理」、「倫理面の心構え」を学び、実技では現場で必要となる技術を学ばれました。全国統一要約筆記者認定試験から約2か月、養成講座とは違った雰囲気緊張されている様子でしたが、活発に質問をされたりと、とても熱心に取り組まれていました。この研修で学んだことをふまえて、派遣現場に臨んでいただきたいと思います。



最近入荷した DVD のご案内

★東京の聴力障害者情報文化センターが制作したDVD

「手話で学ぶ熱中症 出演者／皆川愛」

熱中症の原因や症状、予防・対策を手話でわかりやすく解説します。

「原爆の図 ～手話で語る原爆の惨状～ 出演者：長井恵里／佐沢静枝」

原爆の図丸木美術家所蔵の「原爆の図」を手話で紹介。戦争と平和について考えるきっかけを届けます。

「きょうの健康 加齢性難聴 最新技術でここまで改善(字幕付き)」

加齢性難聴の特徴や原因、早期発見の大切さを紹介。スマホやパソコンでできる無料の聴覚検査も解説します。



★当センターが購入したDVD

「手話インタビュー 米内山 明宏 VOL.1～生い立ちを語る～」

「手話インタビュー 米内山 明宏 VOL.2～演劇の道へ～」

「手話インタビュー 米内山 明宏 VOL.3～映画の夢、手話への思い～」

ろう俳優・演出家として活躍する米内山明宏さんが、生い立ちや現劇との出会い、映画への夢、そして手話への思いを手話で語ります。これまでの歩みや経験、手話への情熱に触れられる貴重なインタビューです。ぜひご覧ください。

手話奉仕員・手話通訳者養成講座 開講

手話奉仕員・手話通訳者養成講座

令和8年度は手話に関する養成講座を5講座開講します。

手話講習会〔単発・入門コース〕 毎週土曜 全18回 10月3日～

手話講習会〔単発・基礎コース〕 毎週土曜 全19回 開講中

手話講習会〔通年／入門・基礎コース〕 毎週水曜 全37回 開講中

通訳者養成講座（基本課程・通訳Ⅰ） 毎週土曜 全29回 開講中

通訳者養成講座（応用課程・通訳Ⅱ） 毎週土曜 全30回 開講中



実技講師を担当してくださっているのは、特定非営利活動法人川崎市ろう者協会、川崎市登録手話通訳者団の皆さん、加えて今年度より、特定非営利活動法人手話教師センターにもご協力いただきます。1年間どうぞよろしくお願いいたします。各講座の詳しい情報は、当センターホームページをご覧ください。

要約筆記者養成講座 開講

今年度も手書きコースとパソコンコースの2コースを開催します。それまでは手書きとパソコンを交互に開催していたのが、2コース同時に開催が始まったのが平成28年度からです。今年で10年目となります。

手書きに16名、パソコンに7名の応募がありました。その中で5月8日（金）午前（パソコン）、午後（手書き）の説明・選考会を行いました。

要約筆記の利用者である中途失聴・難聴当事者から「要約筆記の必要性」、手書き・パソコンそれぞれの要約筆記とは？登録要約筆記者の説明、当センター職員が派遣事業について概要を話すなどの説明を行いました。その後は選考会を行い、受講していただく方を決めました。

5月22日（金）から来年の1月29日（予定）まで、長い講座が始まりました。講座の初めには『センター見学』を行います。長く通う当センターの設備など、またセンターで自分に役立つことなどないか、見つけていただきたいと思います。センター内のさまざまな情報にアンテナを張って、少しずつ聴覚障害者の活動や催しなどにも触れながら、学習を積み重ねてもらいたいと思います。

講座では外部講師に加えて、特定非営利活動法人川崎市中途失聴・難聴者協会と川崎市登録要約筆記者協会の方々に講師を担っていただきます。毎回の実技の準備など、苦勞に耐えないと思いますが、よろしくお願いいたします。来年の春には、たくさんの仲間が増えていますように、皆さん応援してください。



ビデオ通信 98

●貸出ベスト5

(2026年4月1日から
6月30日)

順位	ジャンル別	本数
1位	センター制作分	51本
2位	映画・ドラマ	17本
3位	教育・教材	5本
3位	手話学習	5本
4位	記録・報道	1本

●データ紹介

	来所者数	ビデオ 貸出数
4月	966	41
5月	1,149	30
6月	828	24
合計	2,943	95



<休館日のお知らせ>

休館日は毎週月曜日と祝日です。月曜日が祝日の場合は、翌日の火曜日も休みとなります。(■休館日)

2026年8月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

2026年9月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

8月9日全館清掃のため休館

2026年10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2026年11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

川崎市聴覚障害者情報文化センター

〒211-0037 川崎市中原区井田三舞町 14-16

お問い合わせ

電話(代表)・・・044-798-8800
手話通訳・要約筆記派遣・・・044-798-8803(FAX)
ろうあ者・難聴者相談・・・044-798-8804(FAX)
代表・部屋の貸出等管理・・・044-798-8805(FAX)

ホームページ

<http://www.joubun.net/>



公式 LINE ID

@361knuro



東急東横線・目黒線
元住吉駅西口
徒歩約15分

※当センターに駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用ください